

<Teams>トラブルチェックシート

【授業前のトラブル】

<ID・パスワード>

・(学生) Teams にサインインができない

Microsoft office365 にサインインしているか？

→サインインしていない場合は <https://www.microsoft.com/ja-jp/> からサインイン後、再度 Teams にサインインする

不要なスペースや「Caps Lock」「Num Lock」がオンのまま、打ち込んでいないか？

他のサイトのウィンドウやアプリをすべて閉じているか？

→他のサイトやアプリを起動している場合、そのアプリの入力制限（例えばひらがなで入力等）の影響を受ける場合があるため、Teams アプリ以外はすべて閉じる

・チームが見つからない

Teams にサインインしているアカウントが「@odai.tais.ac.jp」になっているか？

・チームに学生が追加されていない

チームコードを学生に伝えているか？

→チームコードでチームに参加してもらうか、学籍番号を入力して教員が追加する

・学籍番号でメンバー追加ができない

Teams にサインインしているアカウントが「@odai.tais.ac.jp」になっているか？

【授業時のトラブル】

<映像・音声の設定>

・自分の映像が画面上に反映されない

映像機器が正しく設定されているか？

→「…（その他の操作）」から「デバイスの設定を表示する」を選択し、設定する

カメラマークに「/」が付いていないか？

→カメラマークをクリックして「オン」にする

・自分の音声が他の参加者に聞こえていない

マイクマークに「/」が付いていないか？

→マイクマークをクリックして「オン」にする

マイクが正しく接続されているか？

→「…（その他の操作）」から「デバイスの設定を表示する」を選択し、設定する

・学生の音声をミュートにしておらず、生活音が授業の妨げになっている

学生のマイク設定をオフにするように伝えてありますか？

→授業中は参加者を表示させて、対象の学生のマイクをオフにできる

※学生自身でマイクを「オン」することが可能なので、授業妨害などの場合は、参加者を退出させる

<授業中の画面操作>

・突然学生の画面が共有され、授業進行の妨げとなった

学生に不要な画面共有を行わないよう、伝えてありますか？

→Teams では、メンバーおよびゲストに画面共有を禁止する設定ができません。

授業妨害がひどい場合は、チームのメンバーおよびゲストから削除する。

・教員が画面操作を指示した際、使用端末の違いにより、学生側にうまく伝達できない

→あらかじめ特別な操作が必要な授業の場合は、T-po で ID 等を通知する際に、操作についても合わせて学生に伝えておく

・資料を見ながら授業が受けられない（学生が手元に資料を印刷していない場合）

【PC の場合】

学生に画面右上の「全面画終了」ボタンをクリックさせ、Teams のウィンドウの枠にカーソルを合わせて大きさを調整させる

【スマートフォンの場合】

同一画面で資料データ表示画面と Teams 画面を並列することはできない。こうした状況の学生が受講することを想定した授業展開が必要

<通信トラブル>

・通信障害により授業を開始できなかった、または授業中に接続が切れてしまった

(有線の場合) LAN ケーブルが外れていないか？

(無線の場合) 無線 LAN アクセスポイントやルーターの電源は切れていないか？

PC やスマートフォン、またはルーター等の再起動によって状況は改善されるか？

他のインターネット回線に切り替えることは可能か？

→ (教員) 接続を復帰できなければ、授業を中断し、T-po を通じて学生へ連絡する

(※「最終頁：ライブ配信型の不具合の対応について」を参照のこと)

→ (学生) 接続を復帰できなければ、必ずその旨を授業担当教員に連絡すること

・通信状態が不安定になり、音や映像が途切れ途切れになる。

(Wi-Fi や携帯端末の場合) 場所を移動することによって改善されないか？

(Wi-Fi や携帯端末の場合) 再起動をして改善されないか？

- (PC かつ Wi-Fi の場合) 有線接続に変更することで改善されないか?

→一度ミーティングから退出し、再入室するなどの対応も試みる

【改善されない場合】

(教員) → 授業を中断し、T-po を通じて学生へ連絡する

(学生) → 改善されない場合は、その旨を授業担当教員に連絡し、指示を受ける

<授業妨害>

- ・授業妨害を行っている学生、または第三者がいる

(ミーティング上での私語、チャットでの罵詈雑言、授業と無関係な画像・映像の共有等)

- その授業妨害は授業の継続に支障をきたすレベルのものか?

- 授業妨害が発生した場合には、その行為者を参加者一覧の画面から強制的に退出させることができる。ただしチームメンバー(またはゲスト)である限り再参加が可能なので、必要に応じてチームメンバーから削除する

※【予防策】 予めチームメンバーに履修者以外が追加されていないかを確認する

- 上記およびその他の対応がとれず、配信を中止せざるを得ない状態であるか?

→当日の授業継続が難しい場合は、授業に代わるもので対応する(課題提示等)。

※「最終頁：ライブ配信型の不具合の対応について」を合わせて参照のこと

ライブ配信型の不具合の対応について

経過時間	不具合発生時			
	①学生へ連絡ができるとき		②学生へ連絡ができないとき	
	教員	学生	教員	学生
10分前	不具合発生		入室なし	
5分前	} 学生へ不具合発生 をT-poで通知	入室待機	↓	入室待機
授業開始				
5分経過				
10分経過				
15分経過				
20分経過	※学生へT-poで		↓	↓
25分経過	代案することを周知			
30分経過				

①学生へ連絡ができるとき

1. 学生へ不具合が生じていることを、授業開始前までにT-poで知らせてください。

例)

「受講生の皆さん

只今、会議室の接続ができませんので、しばらくおまちください。」

2. A.復旧した場合⇒授業をおこなってください
B.復旧不可の場合⇒20分～30分を目安に、学生へT-poを通じて代案（課題提示等）を提示することを周知してください。
後ほど、学生へ代案の詳細をお伝えください

②学生へ連絡ができないとき

通信環境の不具合の場合は、T-poでの通知も難しいと想定されるため、トラブルが発生し、授業開始時間が30分経過しましたら、履修規程に基づき休講となります。

後ほど、学生へT-poを通じて課題提示等の補講の指示をおこなってください。